

都立 第五福竜丸展示館ニュース

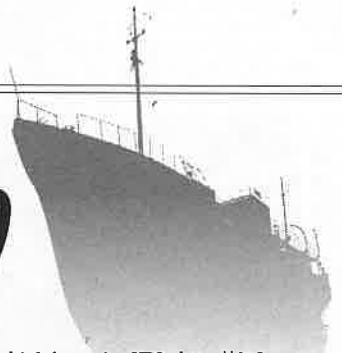
2009.06.01
No.351

(5・6月合併号)

発行：財団法人 第五福竜丸平和協会 連絡所：東京都江東区夢の島3-2 〒136-0081 第五福竜丸展示館内

Tel.03-3521-8494 Fax.03-3521-2900 E-mail:fukuryumaru@msa.biglobe.ne.jp URL http://d5f.org

福竜丸だより



原爆ドームをのぞむ新藤兼人監督。広島出身の監督は、原爆被害と人間への鋭い洞察に満ちた作品を発表している。(撮影一九八八年)

第五福竜丸は生きている 新藤兼人監督映画「第五福竜丸」 50年企画展はじまる

—会期五月一六日〜六月三〇日—

映画『第五福竜丸』は、一九五四年に日本の国内外を震撼させた「ビキニ事件」を、第五福竜丸乗組員の体験した半年間を軸に描いた、ドキュメンタリー・タッチの劇映画です。この作品は被災の四年後、一九五八年秋から制作にかり、五九年二月に公開され、今年五〇年を迎えました。

この映画は、第五福竜丸展示館にとっても、節目ごとに上映・鑑賞されている作品です。船の保存運動や展示館開館当時には「ビキニ事件を知るつどい」や「ビキニデー集会」で上映されました。「保存のよびかけ」から三〇年の一九九八年には船体をスクリーンにしての上映会、二〇〇四年「ビキニ水爆実験被災五〇年」には新藤兼人を招いての上映会が開かれています。

二〇〇一年新藤兼人監督の二一作品がアンソロジーとして編まれた際には、現在の船と展示館の様子もボーナス映像で収められ、展示館のビジュアル・ルームでもDVDが頻繁に視聴されています。また、映画は、現在目にすることのできない木造漁船でのマグロ漁のようす、当時の漁港の町・焼津を知ることのできる映像資料でもあります。

本企画展では、制作時のニュースやシナリオ、スチール写真などの現物資料を展示し、「第五福竜丸」以降、現在に至るまで新藤兼人作品の音楽を担当している、作曲家・林光さんの仕事も紹介します。

企画展にあたり新藤さんは、「第五福竜丸は生きている」の書を揮毫し展示館に贈ってくださいました。

二〇〇一年新藤兼人監督の

特集 映画「第五福竜丸」の 企画展とコンサートによせて

新藤兼人さんが 描いた原爆

新藤兼人さんは原爆・核をテーマに、「原爆の子」「第五福竜丸」「ドキュメント8・6」「本能」「さくら隊散る」などの作品を発表しています。

一九四五年十月初旬、軍隊から「解放」された新藤さんは、尾道の兄の家に身を寄せ、原爆に破壊されつくした広島



映画より、出航を見送るシーン

の町を目にします。現在に至るまで、新藤さんが原爆をつたえなくては、と作品を作り続ける原体験となりました。

原爆の子

独立プロダクション近代映画協会を設立し、監督デビューした新藤さんは、独立プロの主体性をもったテーマでの映画をと考え、その最初の作品に「原爆の子」を選びました。

この映画が発表された一九五二年は、サンフランシスコ講和条約が発効し、アサヒグラフが「原爆特集」を組み、人々が初めて原爆被害に触れた頃です。原爆の被害にあった子どもたちの作文集、長田新編『原爆の子』（岩波書店）に素材に取りながら、新藤さんはオリジナルの脚本を書き下ろしました。

普通に生活していた市民が、一発の原爆で心も体も破壊され、故郷を失い、生活基

盤を破壊される。しかしそれでもたくましく生き抜く人間の底力を、戦争の理不尽さとともに描き、高い評価を受けました（チェコスロヴァキア国際映画祭平和賞、ブリティッシュフィルムアカデミー国連賞ほか）。

第五福竜丸

「原爆の子」の二年後、第五福竜丸の水爆実験被災の事件がおこります。新藤さんは「これは映画にしなくては」と強く感じたといえます。事

実に即してドキュメンタリー的な作り方を試み、取材、インタビューを重ね、脚本づくりに二年を費やしました。今こそドキュメンタリードラマは少なくありませんが、当時としては画期的な手法でした。これらの仕事を新藤さんは「死の灰をかぶってから久保山さんの死まで記録をたどって忠実に再現するつもりである。だが記録映画ではない、ドラマである、役者が演じるのだ。このことよって記録映画の限界とドラマの壁を踏み越えることができたと意図した。」（福竜丸だより

新藤兼人さんのプロフィール

一九一二年広島市に生まれる。

一九三四年新興シネマ美術部に入り溝口健二監督に師事。三九年シナリオライターに転ずる。四四年松竹大船撮影所脚本部に移籍するが、同年四月、応召して呉海兵団入隊。四五年八月一五日を宝塚海軍航空隊で敗戦を迎え、松竹大船撮影所に戻る。

五〇年松竹退社。吉村公三郎、絲屋寿雄らとともに独立プロダクション「近代映画協会」を設立。五一年「愛妻物語」で監督デビュー。以後二〇〇八年までに四八本の監督作品を発表。シナリオは映画作品だけでも二三〇本に及ぶ。エッセイ、評論、自叙伝など著書は七〇冊を超える。〇二年文化勲章受賞。

一八八号 一九八八年二月）と記しています。

これは独立プロ新世紀映画との共同製作でしたが、資金がなく、近代映協はこれでつぶれるかもしれない。そんな危機感を持ちつつ、それでも始めればなんとかなると、焼津に赴きます。旅館に分宿したものの、フィルムも大量購入ままならず、一〇〇フィート、二〇〇フィートと買っては運ぶ状況ですから、宿賃も払えず、とうとう出て行くところがない。居すわると、

食事はミン汁と漬物になった、しかたなくタマネギを細かく刻んでカツオブシをかけておかずにした。このエピソードもあります。

ようやく完成・上映にこぎつけますが興業は惨憺たるものでした。世の中は「暗い」ゲンバクもの」を喜ばないの

しかしこの映画は海外にも紹介され、チェコスロバキア働くものの映画祭平和賞、ユゴスラビア世界青年平和友好祭銀賞を受賞しています。（3めんにつづく）

ライフワークとして

その後も新藤さんは、広島での被爆とビキニ事件の衝撃が原因で性的機能を喪失した男性の生き様を取り上げ、性・生・死に焦点を当てた実験的映画「本能」(六六年)、RCC(中国放送)の企画「世紀の証言」の総集編「ドキュメンタリー 8・6」(七七年日本ジャーナリスト会議「JCJ賞」本賞受賞)、広島での巡業中に被爆し、九人が被爆死した、移動劇団・櫻隊を描いた「さくら隊散る」(八八年・全国映連賞特別賞)などで原爆を取り上げています。また、軍隊の理不尽さと戦場の実相



水爆実験との遭遇と漁師たち

に迫る「軍旗はためく下に」(深作欣二監督)、自身の軍隊体験を描いた「陸に上った軍艦」(山本保博監督)、などシナリオを通して戦争を告発しつつつけてもいます。

二〇〇四年、第五福竜丸平和協会協会主催「3・1ビキニ記念のつどい」で、新藤さんは「原爆を撮ることは、私のライフワーク」と語っています。そして原爆がさく裂した瞬間のこと、五分後、十分後に何がおきたのかを描く「ヒロシマ」という作品をつくりたいと意欲を燃やしています。

林光さんの原爆

原爆映画『第五福竜丸』は、林光さんが新藤兼人さんと組んだ、最初の長編映画です。一九五一年林さんは詩人原民喜の「原爆小景」に出会います。原民喜は、この年の三月に自ら命を絶ちますが、『三田文学』七月号には、原爆小景最終章「永遠のみどり」が掲載され、細川書店から『原民喜詩集』が上梓されます。林さんは「この一冊が、いご

ちようど二〇〇年、私につきまとうことになる」(『楽士の席から』晶文社)と書いています。

原爆の図と死の灰

一九五二年、東京芸術大学在学中、芸大祭で展示された丸木位里・俊さんの「原爆の図」の前で、同窓の外山雄三さん、間宮芳生さん、寺嶋尚彦さんを誘い「原爆カンタータ」を作曲・演奏しました。テキストは原民喜「原爆小景」、峠三吉「原爆詩集」。のちに林さんのライフワークともなる「原爆小景」の構想の原型ともいえるでしょう。

五四年、第五福竜丸の被災を知り、「死の灰」をテーマに、林さんは仲間たちとコンサートを企画します。このとき書き下ろされ初演されたのが、△原爆マグロVをテーマにした北川幸比古・作詞、林光・作曲「世界の声」、浅田石二・作詞、木下航二・作曲「原爆許すまじ」でした。

平和を願う原点に

第五福竜丸展示館開館三〇年記念コンサートによせて林

さんは「ビキニ環礁での第五福竜丸の被災は、日本の原水爆反対運動が大きくひろがるきっかけになった。五九年に、ほとんど事実にもとづく新藤兼人さんの映画『第五福竜丸』の音楽を私は作曲した。その前年、一九五八年には『水ヲ下サイ』を作曲、いご五〇年ちかくつづく『原爆小景』創作の出発点に立った。『第五

林光さんのプロフィール

一九三一年生まれ。東京芸術大学音楽学部作曲科中退。尾高尚志、池内友次郎に師事。一九五三年間宮芳生、外山雄三らと「山羊の会」結成。同年「交響曲下調」で芸術祭賞。五六年「オーケストラのための変奏曲」尾高賞受賞。同年「森は生きています」(木村莊十二監督)で初めて映画音楽を手がける。映画「第五福竜丸」で初めて新藤兼人監督作品を作曲。以後新藤作品のほとんどに参加。「裸の島」(六一年)でモスクワ映画祭作曲家同盟音楽賞受賞。

福竜丸』の音楽の演奏が、私たち平和をねがう行動の原点の一つである歴史的体験を、あらためて思い起こす機会になれば、こんなにうれしいことはない」(記念コンサートプログラム)と記しています。



管弦楽、器楽曲からバレエ音楽、歌曲(ソング)、劇音楽、映画音楽など幅広く作曲するほか、音楽教育、執筆と活躍している。オペラシアターこんにやく座の芸術座・座付作曲家として「森は生きています」「セロ弾きのゴロシユ」をはじめとするオペラを作曲。

五八年「水ヲ下サイ」にはじまる「原爆小景」は、二〇〇一年最終章「永遠のみどり」を加え完結。〇八年、選集「林光の音楽」(CD二〇枚+解説書 小学館)出版。

映画『第五福竜丸』との出会いから五〇年 — 展示館ボランティア中橋章子さんに聞く —

展示館の日常をささえるボランティアの会のメンバー中橋章子さん。この作品と初めて出会ったのは、世の中が「安保」に揺れる一九六〇年。函館市内の映画館でした。

北洋漁業の町・函館

ビキニ事件の一九五四年、函館は「北洋漁業再開記念北海道大博覧会」にわいていました。一九五二年北洋での漁業制限が解除されたことを記念し、函館に再び活気を取り戻そうと企画されたのです。

この年の夏、日本初の試みとして、函館市内の映画館「富士館」で深夜興行が始まりました。当時、苦学生だった章子さんの記憶にある富士館は、近寄りがたい場所で、歓楽街の奥にある、いわゆるピンク映画の専門館で。とても若い女性が入るようなところではありませんでした。しかし函館市史によれば「函館名物、富士館深夜興行、午後

す。函館で開催された「全道母と女教師の集い」に参加するのです。

「集い」の会場だった東川小学校の廊下で、章子さんは思いがけず郷里の友人と自分の母親に会いました。

「あら、お母さん。トミちゃんと一緒にだったのかい。」

「章子が来るなんて聞いていなかったよ。」

宿代を浮かすために夜汽車で二泊もした章子さんは、この夜は実家に泊まるつもりでした。ところが郷里の二人も

また、鹿部までの汽車賃よりも安いからと、くだんの富士館に泊まるというのです。

「ええ？泊まるって？富士館って映画館でしょ。」

「朝までね、『第五福竜丸』の映画をやってるんだって。」

「しょこちゃんも、いっしょに行こうよ。」

母と友人の勧めがなかったら、章子さんはいまだって「あんな場所」には行かなかったでしょう。それでも「第五福竜丸」という名前にひかれ、結局同行することにしました。

(5めん上につづく)

資料へ一九五九年▽ 映画「第五福竜丸」が公開された時代

◎できごと

●一月〃南極観測隊が置き去りにした樺太犬一五頭のうちタロとジロの生存が確認●二月〃日本原子力学会創立●三月〃砂川事件で伊達判決↓一二月最高裁判決を破棄、差し戻し●四月〃皇太子結婚●六月〃沖繩県石川市の宮森小学校に米軍ジェット機が墜落●七月〃熊本大学、水俣病の原因は有機水銀化合物と発表●九月〃伊勢湾台風、U2型偵察機が神奈川県藤沢飛行場に不時着●十一月〃安保条約反対の二万人のデモ隊が国会に入

◎くらし

●即席麺人気〃チキンラーメン(日清食品)ベビーラーメン(松田産業、現・おやつカンパニー)●缶ビール発売〃日本麦酒(現・サッポロビール)●マイカーブーム〃日産がブルーバードハダットサン310型V発売

◎メディア

●二月〃日本教育テレビ(NET)本放送開始●三月〃フジテレビ本放送開始。朝日ジャーナル、週刊少年マガジン創刊●週刊少年サンデー、週刊現代、週刊文春創刊●八月〃ニュースネットワーク(JNN)発足●一〇月〃週刊コウロン

◎歌謡曲

黒い花びら(水原弘)、南国土佐を後にして(ベギー葉山)、黄色いサクランボ(スリー・キャッツ)、がんばろう(三池炭鉱合理化反対闘争)東京ナイトクラブ(フランク永井・松尾和子)ギターをもったわたり鳥(小林旭)僕は泣いちっち(守屋浩)

◎映画(キネマ旬報ベストテンより)
△日本映画▽

(5めん下につづく)

章子さんのビキニ事件

実はビキニ事件のころ、困窮生活で新聞もラジオもなく、高校も長期欠席中でした。

「内地」の「遠洋漁業」の船や事件を知ることがなかったのです。むしろ、この年の秋、めったに台風の被害をうけない北海道に台風が上陸し、青函連絡船が転覆し多数の死者をだした「洞爺丸事件」が

おこり、その台風の吹き返しの原因で、かつて暮した泊の近く、岩内町が火災で町の大半を焼失するという事件がありました。水上勉の『飢餓海峡』に描かれたような、大混乱は



平和の絵本を読み聞かせする中橋さん

記憶に鮮明でした。

そんなわけで、弟たちを養いながら勉強していた章子さんが第五福竜丸の名前を知るのには、もう少しあとのこと。大学に進学し、参加したデモ行進では、プラカードに「原水爆禁止」「ビキニを繰り返しすな」の文字が躍っていたし、「久保山さん」「福竜丸」の名前も耳にするようになっていきました。

函館・富士館の第五福竜丸

おっかなびっくりで訪れた富士館は、はたして朝まで繰り返し「第五福竜丸」を上映していました。若いとはいえず、折ウトウトしてはまた観る、音楽に誘われて浅い眠りに入る、それを繰り返しながら、章子さんとお母さん、郷里の友人たちは「いかがわしい」富士館に一泊したのでした。

一夜明けて、トミちゃんが目を輝かせて章子さんに言いました。「しょこちゃん、寝てたっしょ。私、いっつも寝ないで観たんだよ。」

章子さんは少しドキドキし

て、幼馴染の顔を見ました。いつもおとなしく、教室でもいるのかいいたいのかわからないような少女だったトミちゃん。彼女の胸に、核実験で被災した第五福竜丸のことが、きつと刻みこまれたんだな、トミちゃんに、何かが伝わったんだな、と感じたのです。

展示館ボランティアとして

いま章子さんは思います。大規模な自衛隊施設をかかえる、北海道の保守的な小さな町でさえ、「安保反対」の提灯デモが行われたあの頃、映画『第五福竜丸』は、重たくもたしかなものを、新米教師に贈ってくれたのだと。

東京に引越してからも幾度となくこの作品を観たし、船の保存運動ではバッチを売ったり、署名運動に協力もしました。展示館ができる前から子どもたちと船を訪ねて話し合い、学び、その授業がNHKで放送されたこともあり

ました。いま、船のそばでボランティアガイドとして、来館する

1. キクとイサム (今井正) / 2. 野火 (市川崑) / 3. にあんちゃん (今村昌平) / 4. 荷車の歌 (山本薩夫) / 5. 人間の条件 第一部・二部 (小林正樹) / 6. 人間の壁 (山本薩夫)
 7. 浪花の恋の物語 (内田吐夢) / 8. 第五福竜丸 (新藤兼人)
 9. 鍵 (市川崑) / 10. 人間の条件 第三部・四部 (小林正樹)
- △外国映画▽
1. 一二人の怒れる男 (米 シドニー・ルメット) / 2. 灰とダイヤモンド (ポーランド アンジェイ・ワイダ) / 3. さすらい (米 ミケランジェロ・アントニオーニ) / 4. いとこ同志 (仏 クロード・シャブロール) / 5. 恋人たち (仏 ルイ・マル) / 6. 影 (ポーランド イエジ・カワレロウイチ) / 7. 二四時間の情事 (仏 アラン・レネ) / 8. わらの男 (伊 ピエトロ・ジェルミ) / 9. 年上の男 (英 ジャック・クレイトン) / 10. 悪魔の発明 (チェコ カレル・ゼーマン)

△映画「第五福竜丸」上映会のお知らせ▽

映画公開五〇年を記念して、第五福竜丸展示館で特別上映会を開催します。
6月毎週土曜日(6日・13日・20日・27日)午後2時より入館・参加は無料です(事前の申し込みは不要)。

子どもたちに、ビキニ事件とその時代、船がここにあるワケを語っています。なんて不思議なめぐり合わせだろう。自分がいまここにいるのは、あの映画が入り口だったかもしれないとも思うのです。

あの夜、章子さんの耳に幾度となくながれた映画のテ

マ曲が、「ラッキー・ドラゴン・クインテット」となって木造船と響きました。章子さんは感慨をもちながら、きょうも子どもたちに語りかけます。(聞き書き、編集部)

マーシャルの子どもたちのことを 伝えたい

写真絵本13年ぶりの復刊

島田興生

リミヨ・エボンさん一家に二年ぶりに再会したのは、リミヨさんが小学校教師を退職して六年、悪化した持病の腎臓病の治療のため、仮住いのメジヤト島から病院のある首都マジュロ島に引っ越した直後の〇五年一月のことだった。

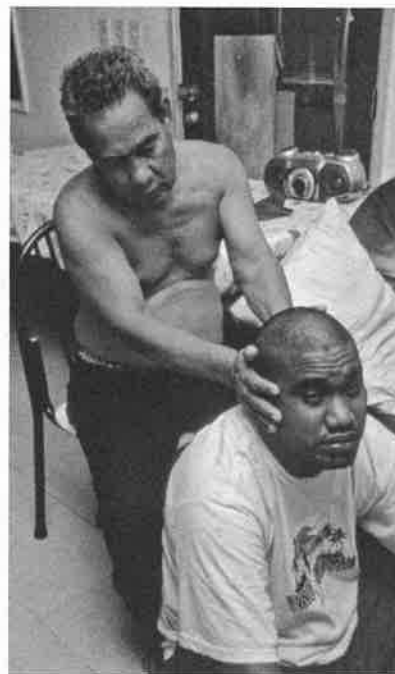


前列左からアバッカ・アンジャイン議員（ロンゲラップ選出）とリミヨ・エボンさん、後ろは島田（06年2月）

リミヨさんは一九五四年三月一日のビキニ水爆実験で被曝したロンゲラップ島の八六

人の一人で、同時に被曝した父と母、妹をすでに失っている。四日間泊めて貰い、最後の夜みんなで記念写真を撮った。このときリミヨさんは一人の若い男を隣に引き寄せ写真に収まった。リミヨさんのただ一人の息子でいま二四歳の立派な若者に成長したジャマイ君だった。避難前のロンゲラップ島で八カ月の赤ちゃんのジャマイ君の写真を撮っていたので、成長した彼の元気な姿とリミヨさんのこれまでの苦勞がしのばれ、私もひどく感激したものだ。

それから二年後の〇七年一月、再びリミヨさん一家を訪ね二日間ほど泊まった。最初の晩は暗くなっても停電で電気がつかなかった。クーラ



ジャマイ君の頭のマッサージをするタリネスさん（07年1月）

ーが止まった家の中は暑いので、夫のタリネスさんと庭に出た。町中真つ暗、走る車のヘッドライトに道で遊ぶ子どもたちの元気な姿が浮かぶ。

「〇二年に改定されたアメリカの被曝自治体への財政・医療支援は大幅に縮小され、毎日飲まなければならぬ甲状腺ホルモン剤も自腹で払っています」とタリネスさんは少し弱々しい声で言った。

これまでアメリカ政府はロンゲラップやビキニの被曝者に無料で医療支援を行ってきた。しかし、協定改定後、ほとんどの医療支援は打ち切られた。核実験にともなうマーシャル人の疾病と土地などに對する損害を補償する基金も底をつき満額を受け取った人はいない。昨年、胃の手術で

タリネスさんはハワイに行つたがこの費用も自分で工面しなければならなかった。

午後八時、ようやく電気がついた。家の中に入ったタリネスさんは二六歳になったジャマイ君の所に行くのと彼の頭のマッサージを始めた、被曝後に亡くなったイロジヤカタさんと同じ症状で頭痛が激しいと言う。

二年前元気な姿のジャマイ君を見て、リミヨさん一家の明るい未来を夢見た私は少し甘かったようである。被曝との因果関係は不明だが、ジャマイ君も後遺症に苦しんでいるのは間違いないかった。



◆復刊写真絵本『水爆の島マーシャルの子どもたち』の普及にご協力ください。1冊700円（税込み）・送料100円、申し込みは第五福竜丸平和協会まで

リミヨさん一家の現状に物理的な支援は難しいかもしれない。しかし、私たちが「みなさんの事は決して忘れてないよ」と言う気持ち伝える一つの方法として、『写真絵本・水爆の島マーシャルの子どもたち』の復刊という方法もあるなど、その時リミヨ一家を見ながら考えたのがきっかけになったのだ。

（フォト・ジャーナリスト）

被爆者はねがいます 核兵器のない世界を

岩佐幹三

オバマ大統領は、四月五日、チエコのプラハでの演説で、米国の大統領としては初めて「核兵器を使用した唯一の核保有国の道義的責任」を認めるとともに、核兵器廃絶への意欲を示しました。これより先「核兵器のない世界」についての提言をした四人の元高官をふくめて米国の中で新たな変化が起きています。

オバマ氏は、その演説で「核兵器の廃絶は私の生きている間には実現できないかも知れない」とも付け加えました。



原爆症認定集団訴訟の行動より

私は、今なお人種的偏見の強いアメリカ社会で生命をかけて「チェンジ」にたちむかう毅然たる姿を見る気がしません。核兵器の廃絶は、国際条約や協定の締結だけで完成するものではありません。開発や生産など、これまでその利潤にむらがつてきた産軍体制の転換が必要です。オバマ氏は、核兵器廃絶の展望の難しさにふれたともいえます。

そうした動向にたいして日本政府も、遅れてはならじと動き初めているようです。四月二十七日、外務大臣が国際問題研究所の講演会でこの問題について講演をされ、核軍縮のための「11指標」を提案しましたが、廃絶は視野に入っていないかっただようです。そこに日本政府の原爆被害の過小評価・被爆者軽視の基本姿勢が反映しているように思っただけは私の偏見でしょうか。

私たちが被爆者は、第五福竜丸

丸の被爆を契機に盛り上がった原水爆禁止運動の中で日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）を結成しました。以来、「核戦争するな、核兵器なくせ」「再び被爆者つくるな」と国の内外に訴えつづけ、これまで幾度となく訪れた核兵器使用の危機を防ぐのにも寄与してきました。また、国の核兵器容認の姿勢にもつながらる原爆被害の過小評価政策の転換を求めて、原爆症認定訴訟をたたかってきました。

「核兵器も戦争もない世界」をめざす国の内外の世論と運動こそが、今日の新しい風を引き起こしたのです。今や絶好のチャンス到来です。核兵器の廃絶という大事業は、オバマ氏や有力な政治家たちだけでも実現できるものではありません。それを支える大きな国際世論と運動がなくては達成できません。高齢化した私たちが被爆者ですが、生きていく限りこの道を歩み続けます。皆さん、共に考え、歩んで行きましょう。

（日本被団協事務局次長、第五福竜丸平和協会評議員）

ビキニ水爆被災55年・映画「第五福竜丸」公開50年記念企画協賛

陽光堂印刷

東京都港区芝2-23-15 志気ビル
電話 03-3769-4821

日光紙業株式会社

東京都墨田区両国4-3-10
電話 03-3631-0063

植栽提供・夢の島公園内

東京都 夢の島熱帯植物館

電話 03-3522-0281 FAX 03-3522-0283

これだけは伝えておきたい **ビキニ事件の表と裏**

—— 第五福竜丸・乗組員が語る

大石又七著（本体一五〇〇円）

第五福竜丸の乗組員だった著者だからこそ、伝えなければいけないことがある。ビキニ事件は、けつして過去のことでない。平和とはどういうことか？ ビキニ事件を知らない若い人たちに問いかける。

「原爆症」—— 罪なき人の灯を継いで

郷地 秀夫著（本体一〇〇〇円）

医師として三〇年余り被害者に寄り添い、その心と体に刻まれた原爆の傷を看続けてきた。そのなかで出会った被爆症患者たちの、過酷な被爆の実相と、その苦しみと闘いながら生き抜いてきた姿を描く。

かもがわ出版 <http://www.kamogawa.co.jp>
〒602-8119 京都市上京区堀川通出水西入
TEL 075(432)2868 FAX 075(432)2869

満開の桜の下で お花見平和のつどい

今年9回目となる「お花見平和のつどい」（第五福竜丸から平和を発信する連絡会）が4月5日に開かれ、150人が参加しました。

開会に、東京地婦連の川島霞子会長は、60余年直接戦争をしなかったのは、平和憲法のおかげ、平和があればこそお花見の集いもできます。とのべ、つづいて参加団体から平和のとりのくみ報告がありました。毎年夏にエンジンのサビ止め薬塗りのボランティアをしている埼玉の青年からの報告には大きな拍手がわきました。

八重紅大島桜が満開のもと、和やかに昼食タイムがもたれ、加藤ひろあきさんによるピースミュージックが響きました。

午後は、館内でのミニ講演会。東京の被爆者の会の村田未知子さんからは、原爆症認定の集団訴訟が切り拓いた国の認定基準を改正させた前進面と今後の運動課題について報告されました。展示館の安田和也学芸員からは、「岡本太郎と第

五福竜丸」と題して、昨春秋に渋谷駅に設置された太郎の巨大壁画「明日の神話」をはじめ、ビキニ事件や原水爆に触発されて描いた太郎の作品について紹介と解説がありました。

猿橋勝子さんの評伝、出版

猿橋勝子さん（2007年没）は、第五福竜丸被災直後の「死の灰」の分析から、後年は第五福竜丸平和協合理事として、船体の保存や展示館の運営にいたるまで多方面に貢献されました。それは師でもあった三宅泰雄さん（第五福竜丸平和協会初代会長・地球化学者）とともに記憶される活動でした。

このたび、岩波書店科学ライブラリーの一つとして、『猿橋勝子という生き方』が編まれました。著者は、女性科学者で慶応大学名誉教授の米沢富美子さん。

猿橋さんは、女性が理系の道を選ぶことも困難な時代に自らの強い意志を貫いて進学、地球化学の分野で世界的な業績をあげ、科学者として海洋の放射能汚染を世に訴える活動を行いました。また平塚らいてうと協力して日本の女性の国際社会進出にも貢献しました。さらに定年

後には、後進を育てようと女性科学者を顕彰するための「猿橋賞」を創設し、科学を志す女性のあこがれとなっています。

第4回猿橋賞受賞者で自らも猿橋さんの精神を受け継いで後進育成に尽力する著者が、その直向な生き方を伝えることで科学の道をめざす若者に勇気を与えたい、と次世代へのエールを込めて綴る渾身の評伝となっています。（岩波書店、B5判126頁、1200円+税）



夢の島熱帯植物館による夢の島公園花いっぱいプロジェクトとして「花壇コンクール」が催され、協会も「第五福竜丸は航海中」と題して参加しました（写真）。おしくも入賞は逃しました。

ここが家だ

ベン・シャーンの第五福竜丸



日本絵本賞受賞

発売中

毎日芸術賞受賞

定価1,680円 定価1,890円

絵/ベン・シャーン
構成・文/アーサー・ピナード
ブックデザイン/和田 誠

集英社

ひろしま

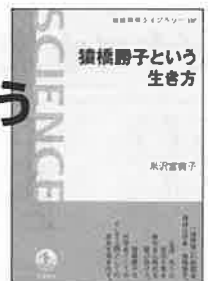


著者/石内 都
ブックデザイン/佐藤 卓

【岩波科学ライブラリー 157】

猿橋勝子という 生き方 米沢富美子

先輩女性科学者から次世代へのエールを込めて贈る評伝。 B6判・定価1260円



岩波書店 〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
http://www.iwanami.co.jp/ 【定価は消費税5%込みです】



日本の巨匠監督が、「原爆の子」「第五福竜丸」が完成するまでの苦闘のドラマと新作への気迫あふれる意欲を縦横に語る書き下ろし。

新藤兼人 原爆を撮る

新日本出版社 〒151-8051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-25-5 103-3421-8402 (営業)
info@shinjin-net.co.jp www.shinjin-net.co.jp

定価1890円(税込)

平和文化の本

フィールドワーク第五福竜丸展示館

第五福竜丸平和協会編 600円+税

新版東京の戦争と平和を歩く

東京都歴史教育者協議会編 2000円+税

電話 03-3812-8618 FAX 03-3812-7105
東京都文京区本郷2-23-3